

同窓会だより

2020年10月23日発行
 大阪府立大学工業高等専門学校同窓会
 TEL:072-821-6401 FAX:072-821-0134
 URL: <http://www2-ob.ct.osakafu-u.ac.jp/>

校長挨拶

大阪府立大学工業高等専門学校 校長 東 健 司



同窓会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃から本校の教育、研究、地域貢献にご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

最初に、本年3月末をもって、平井三友先生（機械システム）がご退職されました。また、4月より川光大介先生（一般科目）と高橋舞先生（保健室）が新規採用され、新しく高専の仲間とされました。両先生の益々のご活躍を期待しております。

コロナ騒動に関しては、初めての経験でもあり、色々試行錯誤はありましたが、何とか無事に現在に至っています。さて、昨年4月に立ち上げた産学連携推進会の活動も2年目に入りました。コロナ禍の影響もありましたが、いくつかの可能性も芽生えています。卒業生のため取組んでいる母校の再就職支援です。地域連携テクノセンター内に、再就職支援コーナーを開設し、産学連携推進会の会員企業と連携しながら求人情報を発信しています。昨年11月の開設後、3名の卒業生が相談に来室され、希望が叶った方や、現在、チャレンジ・進行中の方がおられます。ご関心のある方は、是非ホームページを覗いてみてください。

また、優れた技術と経営理念を有する会員企業の経営者を、本校が招聘し、学生に特別講義を行って頂く取組みも開始しています。受講後の学生アンケート結果では、こうした取組みを高く評価する学生が9割を超えるなど、学生にとって素晴らしい学びの場になったことが伺えます。また、講義内容に興味を抱き、国内外のインターンシップや工場見学会に参加する学生も出始めており、こうした一連の流れを太く、確かなものにするためにも、今後、特別講義の機会等を増やす予定です。

創起60周年記念事業を2023年に計画しております。皆様方には、引き続き府大・高専基金「世界に翔けつばさ基金」への記念事業支援をお願いします。

結びに、公立大学法人大阪では、府大・市大を統合して、2022年に大阪公立大学が発足する予定です。今後、同様に本校も時代・社会ニーズに対応する新高専の将来像を考えていく事になりますが、本校に対する先輩諸氏の今後とも変わらぬ一層のご理解とご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

同窓会総会のご案内

2020年度

日 時 2020年11月8日（日） 13:30～14:30

場 所 ZOOMによるリモート総会として開催
 （ミーティングID・パスコードは郵送の同窓会案内はがきをご参照下さい）
 大阪府立大学高専 管理棟 3F 会議室 II より発信
 （コロナウイルス感染拡大防止対策のため）

総会次第

1. 会長あいさつ
2. 校長先生よりごあいさつ
3. 議案

- 3.1 2020年度 経過報告および決算報告
- 3.2 2020年度 会計監査報告
- 3.3 2021年度 活動計画（案）および予算（案）
- 3.4 その他

（1）60周年記念について



同窓会員の皆様へ

大阪府立大学工業高等専門学校
同窓会 会長

南

治 (C3)



同窓の皆様、お元気ですか。令和2年は私もまわりも新型コロナウイルスのせいで、えらい縮こまり生活を強いられていますよね。ここをwordが知事困りと変換するのが笑えますが、地元大阪の吉村さんは困りつつもしっかりと名を売っておられます。庶民的には来年できるから花見をやめ、夏祭りもやめ、町々の盆踊りも老人会も同窓会も催し事を皆断ちまして、感染防止に努めましょう。来年のことなど誰がわかるねん。文化すたれるぞ。などと悪態つきながらテレビ見えます。

日頃はものを思わぬ人間が綴る原稿はつくづくしのびないけど、はて、たどたどと綴ります。

公立大学法人大阪が整い大きな大学に成る。東校長先生らが働いてくださり、高専が置き去りになる心配はない。ところで名乗りはどうなるの。府立大高専から府立が欠けたら大高専、公立付けたら公立大高専、

盗って付けたら大阪高専。小さく付けたら大高専。はて、

高専ロボコンの近畿大会が10月18日にオンラインで行われるとのこと。すばらしいアイデアを温めて、是非がんばって欲しいな。しかし知恵の出しっこがオンラインなあ。昭和もまた遠くなりだしたんだ。

ところで、長期政権も首班交代となったわけですが、同窓会長が私でいいの。長期政権よりもっと悪い。良くないです。次の方を求めます。「禅譲」できます。分譲は不可。

加竜先生に習ったのは「自然の永続性に対する人事のはかなさ。」＝「インテリの憂愁」卒業以来50年、長生きすること2万5千日余。少し観察できる年に達してまいりました。

一般科目系の近況

主任 稗田 吉成

卒業生の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年度より前任の西田教授から一般科目系主任を引き継ぎました稗田です。どうぞよろしくお願ひいたします。以下、今年度の一般科目系の様子をお伝えいたします。

まず本校を定年退職後、特任教授としてご尽力くださった英語の増木先生が3月末で2年の任期を終えられました。そして4月より川光大介先生(英語)が講師、松井悠香先生(英語)が期限付講師として新たに着任されました。鬼頭先生(数学)、吉田先生(国語)は今年度も期限付講師として在籍くださり、一般科目系は、国語3名、社会2名、英語5名、数学6名、物理2名、化学2名、体育2名の計22名の教員で運営しています。なお9月から室谷先生(数学)が育児休業に入られ、若竹昌洋先生が期限付講師として着任されています。さらに増木先生をはじめ、本校を定年退職された黒田先生、畠山先生(ともに社会)にも非常勤講師としてご尽力いただいています。

校務分掌として、コース配属前の1年生担任は西田・谷野・榑崎・橋爪先生、2年生担任は北野・坂井・梶・西野先生です。コロナの影響による年度初めの休校の状況を、担任団として教科を超えた繋がりで対応されました。また井上先生は3年電子情報コース担任です。担任以外では、中田先生は学生担当副校長、小川先生は図書館長、川村先生は学生相談室長、松野・山下両先生は教務副主事、佐藤・伏見両先生は学生副主事としてご活躍です。

またアクティブラーニングを意識した授業を取り入れる教員が増えてきています。コロナの影響で遠隔授業を行ったことでその経験も授業に取り入れてよりよくしようと工夫しています。

何かの機会に学校や研究室を訪れていただければ嬉しいのですが、このような状況ですのでメール等でも近況などをお聞かせください。今後ともご支援の程よろしくお願ひいたします。

機械システムコースの近況

主任 杉浦 公彦

卒業生の皆様には、それぞれの分野にてご活躍のことと存じます。

機械システムコース主任として再任され3期目に入りましたので、今後もよろしくお願ひします。さて、今年度はコロナウイルスによって学校生活は大きく変化しました。4月中は学生への課題は配布されるものの、授業はほとんど行われずオンデマンド方式による自学自習の形で進められました。GW明けからはライブ配信される先生も徐々に増え、Zoomを通して学生と繋がる授業が始まりました。その後、6月中旬からは国立高専は未だに正規授業に戻っていない中、本校は防止対策をとったうえでの学校が始まりました。当コースでは工場棟を使った実習が多く、オンラインではその体験ができないことに悩んでおりましたが、現在ではその遅れを取り戻すように学生、教員共に頑張っています。

5年生の就職や進学もその影響を大きく受け、オンラインによる面接がほとんどになりましたが、本

コース独自に展開しているキャリア支援によって3月には多くの学生が進路を決定していたために、大きな混乱は起こらずに例年通りに5月末までに90%の就職が決まりました。今年度の機械システムコース学生の進路としては、5年生34名のうち22名が就職、6名が編入学、6名が専攻科へ進学します。本年度の専攻科機械工学コースの在籍人数は8名であり、4名が就職、4名が大学院進学と例年と比べてやや進学が多くなっています。本コースでは、全ての学生が希望の進路に向かえるように、3年生～5年生にかけて講演会、工場見学、進路面談、面接練習など様々な支援を行っていましたが、本年度はコロナウイルスの影響によって工場見学は全て中止になり、インターンシップもWEBによるものも増えました。そこで本年度は、WEBも含めてOB / OGによる講演会や授業中の企業講話を増やすことで支援していく予定です。今後とも卒業生の皆様とのつながりを大切にしていきたいと考えています。ご支援の程よろしくお願ひいたします。

メカトロニクスコースの近況

主任 藪 厚生

卒業生の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。以下、メカトロニクスコースの近況について報告致します。

3年には38名(女子5名)が在籍し、担任は和田先生です。今年は多くの学生が集まりまた女子学生も多いのが特徴です。来年度には、さらに3名の編入生が加わる予定です。4年は3名の編入生を迎え31名(女子2名)となり、西先生が担任です。インターンシップにはコロナ対策のため直前での中止もあり22名の参加となりました。また、11月の高専祭では、「基礎研究」でグループ製作したロボットハンドを展示する予定です。葎谷先生が担任を務める5年には25名(女子1名)が在籍しています。9月8日現在、進路につきましては就職15名、進学8名、未定1名という状況です。コロナ感染防止のため、リモートでの企業説明会、面接試験などの就活のなか、就職に関しては既に全員が民間企業様から内々定を頂戴しており、進学については8名が合格通知を手にしてます(豊橋技科大1名、長岡技科大2名、和歌山大学1名、奈良女子大学1名、本校専攻科3名)。なお10月6日にはポスター発表形式で「卒業研究中間

報告会」を開催します。

この春、メカトロニクスコースでは教員の学内での移動があり、前コース主任の前田先生は電子情報コースに移動となり、機械システムコースより里中先生を新たにコースに迎え、9名の教員で運営しています。4～5月はコロナ禍のため休校となり、リモートでの授業や課題提示などで対応しました。今後もコロナ対策のため制限された活動が続くと思いますが、スタッフが一丸となり実践的な技術者の育成に邁進してまいりますので、卒業生の皆様におかれましては、これまでと同様に継続的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

母 校 情 報

教職員の移動についてお知らせします。本年3月で、機械システムコース：平井三友先生が退職されました。これまでの母校へのご貢献に感謝致します。また、4月より一般科目系：川光大介先生、保健室：高橋 舞先生が着任されました。

電子情報コースの近況

主任 前田 篤志

卒業生の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。以下、電子情報コースの近況について報告致します。

3年には31名(女子1名)が在籍し、担任は一般科目系(国語)の井上先生です。来年度、5名の編入生が加わる予定です。11月7、8日開催予定の高専祭では、グループ製作したプロジェクションマッピングとイルミネーションを展示します。4年は1名の編入生を迎え32名となり、早川先生が担任です。夏季インターンシップには25名の学生が参加しました。高専祭では組込マイコンを使用したゲームなどを展示予定です。重井先生が担任を務める5年には33名(女子2名)が在籍しています。8月末日現在、進路につきましては就職22名、進学11名という希望状況です。新型コロナウイルスの影響でこれまでにない状況が続いておりますが、就職に関しては関西電力、

大阪ガス、任天堂等の民間企業様から内々定を頂戴しており、進学についても東京大学(2名)、大阪大学(1名)、北海道大学(1名)、本校専攻科(3名)などに合格しています。10月20日には「卒業研究」におけるこれまでの成果を中間報告会で発表予定です。

電子情報コースは8名の教員で運営しています。コース主任の前田、上記2名の担任に加え、福嶋先生は教務担当副主任、梅本先生は公立大学法人大阪事務局参事(高専改革担当)、窪田先生は情報基盤センター長、青木先生は副主事(教務)、川上先生は学生担当副主任としてご活躍です。スタッフが一丸となり実験実習および研究の高度化に取り組む中で、今後も実践的な技術者の育成に邁進してまいりますので、卒業生の皆様におかれましては、これまでと同様に継続的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

環境物質化学コースの近況

主任 西岡 求

卒業生の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。昨年度に引き続きコース主任を仰せつかっております西岡と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。短文とはなりますが、学生の状況等、本コースの近況を申し伝えさせていただきます。

昨年度、期限付き講師として着任された外山真理先生は4月に大阪電気通信大学に転出されました。1年間の短い期間でしたが、実験実習の改善や女子学生サポートなどに尽力いただきました。今後のご活躍を祈念いたしております。代わって同じく期限付き講師として中島啓造先生が着任されました。中島先生は大手家電メーカーで長らく研究開発に携わってこられたことから、当コースの教育にそれらの経験等がフィードバックされることを期待しています。また倉橋講師が准教授に昇任され、今後高学年の進路指導等に尽力していただけると考えております。

本年度のコース学生数は、本科3年生23名(担任:倉橋准教授)・4年生34名(担任:辻元准教授)・5年生29名(担任:東田教授)、専攻科1年生5名・2年生3名です。新型コロナウイルス感染症は5年生の就職・進学活動に影響を与えました。採用試験では多くの企業がオンライン面接を取り入れたことで、

戸惑いも大きかったようです。幸い志望企業の選択は4年次インターンシップ終了後から随時指導してきたことで、ほとんどの学生が休校になる前に終えていたことから、大きなトラブルはありませんでした。9月下旬時点で11名が内々定をいただいております。進学希望者にとっては、受験日程が変更され編入学試験の実施が例年より遅くなったことで、なかなか進路が決まらない状況が続きましたが、こちらも9月下旬時点で15名が合格通知を受けております。また4年生のインターンシップも大きな影響を受けました。日程や現場実習の短縮や実施直前での変更、オンライン型式の導入、感染症対策など例年とは大きく異なる形態での実施となりましたが、ほとんどの学生が参加することができました。企業を取り巻く環境が厳しい中、インターンシップ受け入れにご尽力いただきました関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

アフターコロナ(ウィズコロナ)の社会は今までと異なっていく可能性が高いと考えられていますが、卒業生の皆様には本校在生に対してこれまでと変わらないご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

都市環境コースの近況

主任 北村 幸定

卒業生の皆様、ますますご活躍のこととお喜び申し上げます。

2年目となりました都市環境コース主任の北村です。コロナ禍で高専全体が右往左往し、先行きに不確実な部分が多い中、就職活動についてもほぼ終わることができました。これも先輩諸兄の格別のご支援・ご厚情の賜物と存じます。誠にありがとうございます。

今年度の都市環境コースに関しましては5年生38名のうち32名が就職(公務員およびインフラ系企業が多い)、3名が東京都立大学、豊橋技科大学等への編入学、3名が専攻科へ進学することとなりました。また、専攻科土木工学コースの修了予定者数は6名であり、2名が大学院進学、3名が就職予定となっています。今年度は本科、専攻科共に進学率がやや低く、就職は公務員(8名)が高い比率となりましたが、これはコロナによる社会経済の先行きの不透明感も影響していると思います。このような状況下ではありますが、OB講演会、現場見学、進路面談、面接練習な

ど様々な支援の充実に努めております。また、コロナを考慮した取り組みとして、遠隔によるOBの座談会なども検討しています。これは、進学・就職ともに卒業後の学生自身のイメージを具体化することにより、ミスマッチ等を防ぐことに役立つものと考えています。今後とも、社会状況をみながら卒業生の近況確認や世代や職域を越えた交流等も一層充実させてまいります。皆さんの所属先(企業や官公庁)には卒業生が多数在籍しておられますので、縦の繋がりを強くする場として、引き続き所属組織内で府立(府大)高専会の旗揚げ、交流促進、組織の強化等を検討いただければ幸いです。

最後に都市環境コース体制の近況ですが、本年度は私がコース主任に就任し、8名の教員で運営にあっています。また、何かの機会には学校や研究室を訪れていただき、近況などをお聞かせください。今後とも皆様の一層のご支援をお願いいたします。

専攻科の近況

専攻科2年担任 中谷 敬子

本校卒業生の皆様におかれましては、日々益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。専攻科には、現在2年生23名、1年生20名が在籍しております。本校の専攻科では、実働日数15日以上「インターシップ」で得た、現場での課題をふまえて「工学基礎研究」ならびに「工学特別研究」のテーマを選び、課題設定から技術の開発と研究に取り組んでいます。また「工学システム実験実習」では企業等からの要請に応じて体系的、一貫的なものづくりのプロセスを専門の異なる学生と協力しながら体験するなど、社会人ならびに国際的に通用する技術者として必要となる知識やスキルの修得を目指しています。

今年度の専攻科1年生のインターシップの実習機関数はのべ28で、企業・官公庁等が17、大学が11でした。現2年生は、昨年度、夏期に3名、冬期に3名が、タイ、ベトナム、インドネシアでの海外インターシップに参加いたしました。現在本校ではグローバル化の柱の一つとして海外インターシップに力を入れており、受け入れ機関も徐々に増えつつあります。科学技術振興機構による「さくらサイエン

スプラン」における学生受け入れを通じて友好を深めたインドネシア・ダルマプルサダ大学には、毎年学生を受け入れて頂き、パナソニックやトヨタの現地生産拠点への派遣を行って頂いております。また、教員の研究活動をきっかけとした開拓により、近年ではブカレスト土木工科大学(ルーマニア)やキングモンクット工科大学(タイ)におけるインターシップも実現いたしました。くわえて2018年度からは、本校卒業生の岩田芳文氏がタイで設立されたROCK ENGINEERINGにて受け入れを行って頂いております。岩田氏にはこの場をお借りして厚く御礼を申し上げます。今後もグローバル化に向け、海外インターシップにご協力いただける卒業生の方がおられましたら、ぜひご連絡いただければと思います。

これらインターシップでの経験をふまえて、研究をさらに進めた専攻科2年生は工学特別研究の修得要件となっている学会発表でその成果を公表しております。

専攻科2年生の進路は、就職希望者10名は、現時点で公務員を目指す学生を除いて全員内々定をい

ただいております。大学院へは 11 名が合格しております。企業、大学からの専攻科出身学生は高く評価されています。これも卒業・修了生の皆様のご活躍の賜物です。今後ともご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後に、昨年度海外インターンシップに参加した専攻科 2 年生の感想を記します。

【海外インターンシップの感想】

機械システム専攻 2 年・玉置友史

私は 14 日間のインドネシアのダルマプルサダ大学

での CAD セミナーに加えて、Jakarta Japan Club 法人部会や日本貿易振興機構、トヨタ自動車の現地生産拠点等への訪問を通じて ASEAN 諸国の経済的な現状および今後の展望を学んだ。私は将来海外で働きたいという意思を持っており、今回インターンシップに参加して、海外で働くことのイメージがより鮮明になった。また、自分の英語能力の不十分な点を知ることができた。今回の経験をもとに、自己研鑽に努めていきたい。

同窓会事務局より



■住所、その他の変更等につきましては、御手数ですが、必ず学科（コース）、卒業（修了）期、氏名を明記して同窓会事務局まで郵送でご連絡願います。

■同窓会の活動費用は皆様の会費で賄われておりますが、財政が逼迫しています。会費（2,000 円／年）の納入をお願い致します。

振込先は、

○郵便局の「払込取扱票」もしくは「ゆうちょ銀行 ATM」の場合：

ゆうちょ銀行（郵便局） 口座番号：00950-6-23456

加入者名：大阪府立大学工業高等専門学校同窓会

*通信欄に学科と卒業期（あるいは卒業年度）をご記入願います。

○「他銀行 ATM」からの場合：

ゆうちょ銀行（金融機関コード 9900）

店番（店名）：099（〇九九店） 口座番号：当座 0023456

※振込手数料につきましては、大変申し訳ありませんが、各自でご負担願います。

■同窓会用の各種印刷は、御幸印刷㈱（Tel. 06-6741-0130）に依頼しています。

その他の業者とは一切取引はありませんので、ご注意願います。

■同窓会の事務は、母校に奉職している会員でやっております。なにしろ仕事の合間を見てのことですので、不手際等もあると思いますが、ご理解のほどよろしくお願い致します。意見等がありましたら母校の下記の者まで御連絡下さい。ご連絡の際は必ず学科（コース）、卒業（修了）期、氏名、連絡方法（電話番号等）をお伝えください。

同窓会事務局

里 中 直 樹（M15） 杉 浦 公 彦（M18） 石 川 寿 敏（M19） 金 田 忠 裕（E20）
（旧姓 尾久土）

土 井 智 晴（M22） 勇 地 有 理（FM7） 安 藤 太 一（FM10）

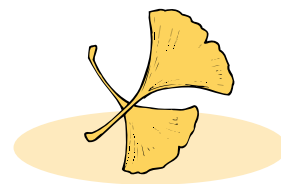
高専祭当日の御願い

今年度の高専祭（11/ 8 日・9 日）は、コロナウイルス感染拡大防止対策のため、本校学生のみ参加となりました。そのため、保護者および外来者はご入場いただけません。卒業生・修了生の皆様におかれましても、誠に恐れ入りますが、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。

2020年度決算報告(案)

ア. 収入の部

項目	予算額	決算額	備考
前年度繰越金	2,839,221	2,839,221	
入会金	750,000	730,000	本科卒業生146名 他高専から入学した専攻科修了生0名 ¥5,000 × 146名 = ¥730,000
会費	300,000	467,000	233.5口分(39口増)
受取利息	52	56	定期42円、普通14円
合計	3,889,273	4,036,277	



イ. 支出の部

項目	予算額	決算額	備考
前年度総会経費	30,000	28,731	2019年11月10日実施
前年度総会案内経費	582,000	590,379	2019年総会案内分
創造性等育成基金寄付	300,000	300,000	ロボコン補助(近畿+全国)
事務費	20,000	3,550	ダルマブルサダ交流会経費
振替手数料(会費)	2000	152	送料
予備費	2,955,273	300,000	府大・高専基金寄附
残額	—	2,813,465	
合計	3,889,273	4,036,277	



ウ. 繰越額

	2020年度期首	2020年度期末	増減額
繰越額(予備費)	2,839,221	2,813,465	-25,756

同窓会会員の個人情報の取り扱いについて

大阪府立大学高専同窓会は会員のみさんの個人情報を保護し、個人の利益を侵害することのないよう、必要な措置を講じます。個人情報の収集に当たっては、

- (1) 正当かつ必要な範囲内で行います。
- (2) 適正かつ公正な手段により行います。

個人情報の利用または提供に際しては、

- (1) 本同窓会の目的(会則第2条)の範囲内で行います。
- (2) 会員個人の権利利益に配慮して行います。

個人情報の管理は

- (1) 必要な範囲内で正確かつ最新の管理に努めます。
- (2) 漏えい、滅失、損傷の防止に努めます。



2019年度 大阪府立大学工業高等専門学校同窓会総会 議事録

日 時：2019年11月10日（日） 12時30分～14時00分

場 所：大阪府立大学高専 管理棟3F会議室 I

資 料：2019年度大阪府立大学工業高等専門学校

同窓会総会 議事録次第

司 会：杉浦 記録：勇

1 会長挨拶

2 校長挨拶

3 安藤先生の紹介

4 議案

4.1 2019年度 経過報告および決算報告

2019年度の入会者数の報告があった。

4.2 2019年度 会計監査報告

今年度より同窓会の会計監査が藤原先生になると報告があった。監査結果の報告が行われた。いずれも参加者に賛同された。

4.3 2020年度 活動計画（案）および予算（案）

2020年度の活動計画および予算についての案が提案され、賛同された。

また、事務費の予算の範囲内において学生の活動を援助するために使用するお金について今後は審議ではなく報告というプロセスで進めたいという提案があり、賛同された。

4.4 その他

4.4.1 ダルマプルサダ大学との協定締結に係る経費支出について

ダルマプルサダ大学の学長らが教育・学術交流協定の締結に来校した際にかかった茶菓子代等の費用を同窓会費から支出したことについて報告があった。

4.4.2 同窓会費について

同窓会費の振込用紙を総会の場に置いておくことや、キャッシュレスで支払いできるようにすることでより入金を楽しめるように提案があった。同窓会事務で検討し今年度中には同窓会 HP を通して対策を連絡することとなった。

また、会費を多く払うことで、永続会員として今後支払う必要がなくなったり、5年間は支払う必要がなくなったりといった制度を作ってほしいと提案があった。

4.4.3 キャンパス移転について

高専のキャンパス移転について質問があり、まだ決まっていないが今年度中にはどうなるのか報告したいと返答があった。また、仮に移転が決まった場合は連絡するように意見が出された。